



元気いっぱいスポ少サッカー大会

スポーツ少年団サッカー交流大会が2月8日、男子が林小学校校庭、女子が小幡小学校校庭で行われました。

子どもたちは寒さのなかでも元気いっぱい。すばやい動きでシュートやパスを決め、ボールを追ってコート狭しと走り回っていました。

〔結果〕◎男子（8チーム参加）▽優勝小幡▽準優勝東成井▽三位園部・吉生◎女子（7チーム参加）▽優勝東成井▽準優勝朝日▽三位小幡・芦穂

1998

3

NO. 513

教育振興大会・講演

第三者の教育論

こととして第二十回を迎える八郷町教育振興大会が二月二十一日中央公民館で開かれました。大会の第一部では、各部門の表彰があり、第二部として笠間市在住の陶芸家福田実さんを講師に招き、「第三者の教育論」と題する講演がありました。お話の概要を抜粋要約して紹介します。

日本全体に欠ける 危機管理の意識

私は、先日ある校長会で、校長先生は競馬馬のようだという話をしました。なぜ競馬馬かというと、いま子供たちの事件が、テレビや新聞で報道されますが、その中に校長先生が出てきます。そして、「あの子供はおとなしかった、目立たない子だ、素直で優しい子だ、子供たちが悪いことを起こすと、

テレビなどに出てくる校長先生は必ずそんなことを言います。ぜったいそんなはずはありませんよ。そんなことを言っている校長に限って競馬馬のようだと思います。つもテレビを見ているんです。

できるならば自分が校長の時代には問題を起こさず、周りを見ないように目隠して、ゴールに向かって突っ走っている姿は、まるで競馬馬と同じじゃないかと思うんです。もつと子供たちに、気を使っていただかないとダメなのではないかという気がします。

現在は、夢もない、未来も考えられない、夢や未来に欠ける迷いの時代だと言われています。

政治もいい加減です。分裂したり、結党したりいろいろなことをやっついて、日本の政治などぜったいあてになりません。世界の中で日本などは、やがて相手にされなくなってしまう。相手にされるような大人を育てるのは皆さんの責任なのです。

重油流出事故がありました。日本は海に囲まれ、重油を九九・七%輸入しているんです。その日本に重油回収船がないんですよ。こんなばかなことってないですよ。

ペルーの公邸が占拠されるという事件がありました。日本人には、危機管理がありません。こうした事件が起きたらどうするのか、

こう対処しなければならぬという危機管理意識がないんです。政府にもなければ、日本人全体にありません。

そういうふうには子供に対しても、危機管理意識がないんですね。子供は、小学生から中学生のころになって反抗してきます。反抗したときにどうすればいいの、という危機管理意識がないから、先生がナイフで刺されたり、子供同士でけんかして刺してしまったりするんです。また、女子中学生が七十歳の年寄りを蹴って殺してしまつたというようなことも、やはり教える親、先生に危機管理意識がないんです。だから、日本はますます迷いの時代に入っていくだろうと、私はそのように思えてならないのです。

子供たちに語る 夢をお持ちですか

皆さんは人生の中で果たそうという夢をお持ちですか。自分の人生の中で、これだけは果たしてやりたいという夢、それから、死んでも花咲くような夢を持っていますか。持っていたとしたら、少なくともそれは子供たちに通じるところです。子供も「俺も先生のようになりたい、あのようになりたい、夢を持って生きたい」、きつとそ



福田実さんのプロフィール

笠間市在住65歳、陶芸家、製陶「ふくだ」第五代義右門襲名、このほど高さ9.5m、直径1.8mの巨大花瓶を焼き上げ、新聞やテレビ等でも紹介されました。これまで焼いた5個の中で最大。日本民芸協団理事、日本ペルー友好協会顧問、茨城県窯業協会理事、県アマチュアボクシング協会理事などの役職のほか、青少年の育成にも活躍。

ペルーのフジモリ大統領からコメンダドール勲章を授与されています。

う考えるだろうと思うんです。

ところが、先生に夢がなくて未来がない、これでは夢を持ち、未来を考える子供が育つはずはありませんよ。親にしても同じだと思います。

人生に歌があり、幸せがあり、豊かさがあって物語になるような人生を歩んでいる人がいるでしょう。うか。いたしたらその人は立派な人です。確実に子供たちを指導することができるとあろうと思うのです。未来を見つめて、いま自分に何ができるのかなどと考えている人なんかはひじょうに少ないですね。

子供をペットに していませんか

このごろ、学校でも家庭でも道徳というものをほとんど教えずになってしまったようです。

いま、子供をどういうように育てているかといったら、だいたい「○○ちゃん」とか「○○くん」などと子供を呼んで育てている親が圧倒的に多いんですね。これは少子家庭だからですよ。昔のように子供が五人も六人もいて「ちゃん」とか「くん」なんて言っていたら、收拾がつかなくなってしまうから、大声で子供の名前を呼び捨てにしてとなりまわっていた

んですね。ところがいま子供が少ないから「○○ちゃん、○○くん」なんて呼んでいるんですよ。

自分の子供をペットのようにしているんですよ。ペットですよ。

ペットのトラやライオンは小さいうちは可愛いですよ。ところがやがて大きくなってからなんざいよ。手はかみつくは、頭はかみつくはたいへんですよ。子供たちをペットにしているとやがて大きくなって猛獣と化しますから。だからペットにするのは勝手なんです。が、ペットなら最後まで責任を持つてくださいよ。

ところが、悪い子供なんか親は責任など持ちませんね。責任が持てないなら自分の子供を「ペットにするな」と私はそう言いたいんですね。

子供離れできない 親が49%

いまとにかく親は子供に甘え、子供は親に甘える、甘えっこみたいなもので、お互いに依存性が強まってしまっているんですよ。

統計を見ると、子供離れしていない親が四九%いるんです。ここにおいでの先生方の中でも、とくに女性の先生方、おそらく自分の子供をペットにしているんじゃないかと思うんです。

ペットにされていた子供にとつて、親が死んだらたいへんですよ。親がいなくなると、支えがなくなりますから、何をやっていいかわからなくなってしまうんですよ。

また、親が生きていても、ペットにしていると隠れた所で何をやっていられるかわかりませんよ。

子供が「あれ買って、これ買って」とうるさく言うのとペットにしている一方で「それはだめ、あれはだめ」と親はうるさく言います。そこで子供は拘束から逃れて、陰で何をやっていられるかわからないんですよ。そういうようになってしまっているんですよ。

子供たちには、自分の行為に責任をとらなければならないんだという考えがないんです。自覚がないんですね。家庭や学校で、自分がやることに責任をとるということをよく教えてください。

中高校生についての統計を見ると、中高校生のころになると親は面倒を見なくなりますので、親の支えがなくなります。「あれ、お母さんは相談にのってくれない、親父に話してもだめだ」ということになります。そうすると、子供たちは生きることへの不安が増大するんです。ペットのようにして可愛がって育てた子供は、やがて中高校生になって面倒を見なくなると、生きることに対する不安が

増大して、自殺してしまうケースが増えるんです。皆さんの子供を自殺に追いやらないようにするのには、やはりきちんとした家庭教育が大事なんです。

あなたは何が 生きがいですか

私が入っているライオンズクラブで、この前有害環境アンケート調査を取りました。その中で大人に聞いた設問がありました。「あなたの生きがいはなんですか」と聞いたんです。皆さんの生きがいは何のために生きていっているのかという質問に、「子供のため」というのが五二%でした。そして、「家族を養うため」というのが二三%、二つ合わせると、七五%が生きがいというものを自分の「子供・家庭」にしているんですね。浅はかな考えだと思えます。

もし先生という職業でしたら、子供たちを善導して、二百年後、三百年後にまでも残るような精神を子供たちに植えつけ、その子供がやがて大人になったとき「先生は、あのときこういう話をしてくれました。あれは俺はひじょうに感銘を受けた」それを聞いた子供はやがて自分の子供に同じことを伝えて行く。そうして、先生の考え方が、本当に優れた考え方であるな

らば、三百年後、五百年後までずっと残っていきます。それが外から見たとき、先生方の生きがいなのではないかと思うのです。

子供を尊重 してありますか

子供を尊重し、感謝することがひじょうに少ないですね。「子供を尊重していますか」と聞くと「うちでは、○○ちゃん、○○くんと呼んでいるから尊重してま

すよ」などと考え違いをしている親がいます。尊重というのはそんなものではないんですね。相手を一人の人間として認めることなんです。家庭で、子供になにか用事をやってもらったとき、親であっても素直に「ありがとう」と感謝の気持ちを表わすことが大事なんです。次に用事を頼むため名前を呼ぶと、飛んで来るようになるんです。私の近所に、小学校に勤めている新任の女の先生がいるんですが、「グラウンドで、子供たちを集めよう」と笛を吹いても集まらない。あの学校は、どうなっているんでしょう」と私の所に来談んです。私は「それは先生のやり方が悪い」と言いました。「どうやればいいんですか」と聞かれましてので「笛を吹いたら一人くらいは集まるだろう」といったら「三

人は集まる」と言うんですね。

「三人集まったら先生が、一回の笛で集まってくれてありがとうと頭を下げなさい。そうして、その次に十人集まったら、集まった十人の子供に、一回でよく聞こえて集まってくれたね、ありがとうと言ってごらんなさい。三回目には学級全員が集まるはずだ。あなたは、集まってくれた子供に感謝してないだろう。そこに問題があるんだからやってみなさい」と話しました。その後の話は聞いていませんが、たぶんうまくいったのではないかと思います。

好奇心は

総合的な力の源

中学生のアンケートで「あなたが充実した中学校生活、充実した勉強をするには、家庭がどのようなであつたらいいですか」と聞きました。皆さんが考えつかないような答えですよ。「親が未来の夢について語り合っているような家庭」というんです。中学生がこう答えているんです。親が百年後、二百年後には「こうなつたらいいな」というような夢についてたえず語り合っている家庭。そんな家庭環境が勉強もできるし、充実した生活が送れると言っているんですね。昨日の失敗を引きずり、忙しい

忙しいというだけの生活をしていたのでは、子供はよく育つはずがありませんよ。

中学生にとっては、親が未来の夢の実現を目指して語り合い、信頼されている。そんな家庭がいちばんいいんだそうです。未来も夢もない家庭であるなら、ぜひ改善してください。

毎日の生活に埋没して、その日暮らしの人が多くいますね。「日々新たななり」という考え方の人は少ないですから。目的なき怠惰ですよ。自分の人生に目的がないですよ。先生方にしても、同じことを毎日繰り返しながら生活を送り、やがて校長になつて競馬馬のようにゴールを目指して突っ走り、何ごともなく終わつてやろうなどという考え方になつてしまふんです。自分の世界がない、歌もなければ夢もない、物語もないんです。これから大事なものは、子供たちに問題意識、好奇心を持たせることだと思ふんです。子供たちに「これは何だか分かるか。何だと思ふ。これは何だ」とたえず問ひかけ、徹底して教えてください。そうすれば、問題意識を持った子供が育つんですね。

ゲートも言っています「好奇心は、観察力、記憶力、理解力を優れさせ、すべての物事を総合的に把握することができると」。

巨大花瓶は一度の晴れ舞台を 懸命に演じるあかし

巨大花瓶についての話をします。九・五の巨大花瓶があります。皆さんによく「何のために作ったんですか」と聞かれます。

一つには、私が死ぬときに「ああ俺もよくやったな。ご苦労さん」と魂が、死んで行く私の体を見て慰めの言葉が言えればいいと思つて作っているんです。

目的なき怠惰で、その日暮らしの人たちはみんな、死を迎えたい。「もつと生きたい、もつと生きたい」と言うでしょう。これは、いい加減な生活を送っているからいけないんです。死がやって来たら、喜んで受け入れようなんていう生活をしていないからです。皆さんもどうぞ死がやって来たら、喜んで受け入れられるような毎日を送つていただきたいと思ふのです。二つには、自分の知識と経験でどれだけの大きな物ができるかという、自分の知識と経験に対する挑戦です。三つ目として、それをペルーや東南アジアに贈つて自分一人の力でも国際親善ができればいいなと考えています。四つ目は、笠間という地名がほんのちよつとでも有名になればいいなという考えです。すべてが自分への

人生は一度限りの 晴れ舞台

慰めのために作っているんです。だから、人が死を恐れるよりも、私は死を恐れないで迎え入れられるんじゃないかと思ひます。

私は、こうして人生を過ごしていくなかで、上手に自分で自分の一生を演じることが大事だと思つていふんです。人生には、歌や夢や希望、未来や豊かさや幸せ、そして情熱、あらゆるエネルギーがあるはずなんです。人生というのは、たった一度の晴れ舞台なんです。その舞台で演じるのはたった一回限りなんです。それがよく分かっている。だから、たった一度の晴れ舞台だということを考へて、これを機会にどうぞ忘れていたことを思い出して、一生けんめい自分の職業、それから親としてやるべきことに励んでいただければありがたいと思ふんです。

私は、少年のような目と心と魂を持つて死んで行きたいと考えているんです。いつまで経つても、やがて死がやって来たととしても、少年のような目と心と魂を持つて

死を迎えたいと思つていふんです。女性でしたら、少女のような目と心と魂です。

目とはなにかというと問題意識です。純粋な好奇心です。「何のために、どうして、それでは」という、たえず純粋な好奇心が必要だと思ふんです。心というのは、過去や未来にとらわれずに、透き通つたきれいな心を持ち続けたい。そして、いま自分に何ができるか、不可能だと思ふこともやってみる。冒険心が必要だと思ひます。

それから、魂です。心の働きを司るのが魂だと言われています。毎日怠惰な生活を送っているのでは、魂を揺り動かすことなんかできないのです。どうぞ皆さん、眠っている魂を揺り動かしてください。そして、感動、感激、そういうものを呼び起こすことによって、感涙や歓喜に満ちあふれた人生がそこにあらはれるんです。それが、私の、少年のような目と心と魂で生きたいという考え方なのです。

私の好きなニーチェの言葉を最後に終わりたいと思ひます。

「人は己を燃やし尽くしても、決して暖かくなれない」

私は残された人生も命を輝かせて生きたいし、皆さんもどうか自分の人生、職業の中で、命を輝かせながら生きて行つていただきたい。それが私の願いであります。

学校・家庭・地域で心の教育

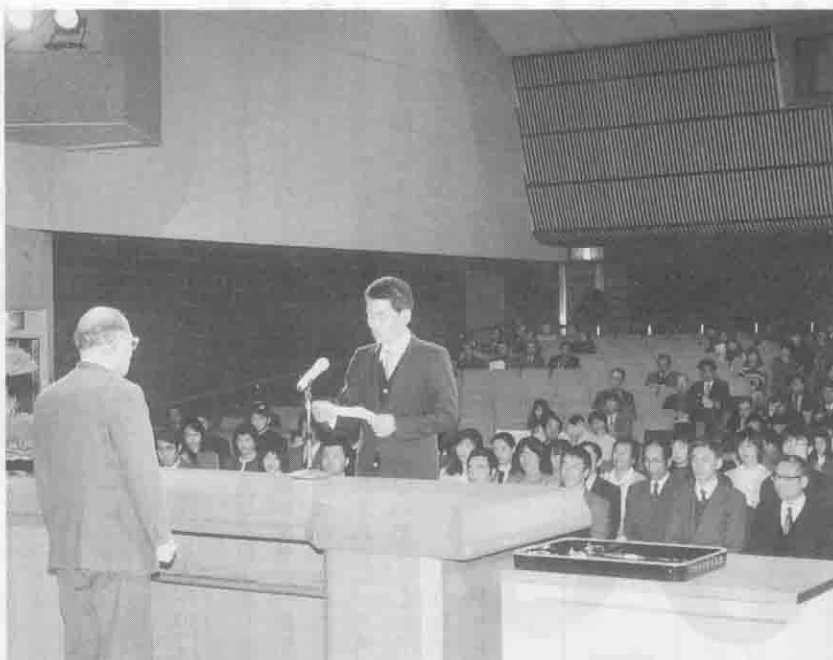
教育振興大会では、教育施設の充実のために多大の寄付をされた皆さんをはじめ、教育関係の各分野で活躍また、貢献された皆さんに感謝状や表彰状が贈られました。授賞者は次のとおりです。

感謝状授賞者

〔学校教育功労者〕 皆川四郎平（東京部）・菊地武雄（柿岡）・市村武雄（柿岡）・鈴木利治（山崎）
茅根弘一（岩間町）

表彰状授賞者

授賞者を代表して平岡市造さんが謝辞を述べました



〔社会教育功労者〕 藤代克（前芦穂地区公民館長）

〔PTA退任役員〕 平岡市造・真家隆司・小林透・塚谷和幸・加藤隆夫・松延利雄・雨貝辰也

〔学校教育功労者〕 鈴木由美子（柿岡中二年）

〔環境美化コンクール入賞団体〕
小・中学校の部▽優秀賞 恋瀬小・南中▽優良賞 小幡小・柿岡中▽努力賞 吉生小・朝日小
地域団体の部▽優秀賞 園部第三百寿会▽優良賞 小幡第四百寿会・菖蒲沢子供会▽努力賞 辻子供会・恋瀬第六百寿会
フラワーロードの部▽優秀賞 朝日地区こども会

〔オアシス運動作文入賞者〕

最優秀賞 中牟田優香（東成井小二年）

優秀賞▽小学校の部 吉田祐（柿岡小四年）▽中学校の部 一条英恵（園部中一年）

優良賞▽小学校の部 柴田枝理（園部小二年）・宮部恵（瓦会小五年）

オアシス運動標語優秀作品

最優秀賞 あいさつは ころまんまる いいきもち

優秀賞 『ありがとう』 あったかいね そのことは

同 あいさつで 心にゆとりと 喜びを

同 おはようの 心かよう一言が 明るい未来の町づくり

下林 平岡 行雄

吉生小学校一年 橋本 麻里江

朝日小学校一年 小澤 直紀

園部中学校三年 田島 美樹

飯村好美（林小六年）・宇田衣里子（恋瀬小五年）・井川幸（芦穂小二年）・小坂あずみ（吉生小三年）・高橋真希（小幡小三年）・萩原真帆（小幡小一年）・大貫恵美（朝日小五年）

▽中学校の部 藤井公勝（有明中一年）・田上雅也（柿岡中二年）

鈴木直行（南中二年）

▽中学校の部 鈴木徹（有明中二年）・木村幸子（柿岡中二年）

桜井恵理（南中一年）（敬称略）

■訂正 二月号四ページに掲載した介護保険料見込み額の中で六十五歳以上住民税非課税（世帯）の場合の額は、一、八七五円の誤りでした。お詫びして訂正します。

最優秀賞 橋本麻里江（吉生小一年）

〔オアシス運動標語入賞者〕



橋本麻里江さん

優秀賞▽小学校の部 小澤直紀（朝日小一年）▽中学校の部 田島美樹（園部中三年）▽一般の部 平岡行雄（下林）

優良賞▽小学校の部 安達望（園部小六年）・土橋明（東成井小六年）・鈴木佑実（瓦会小五年）

市塚由美（林小三年）・大沼藍（恋瀬小六年）・三輪恵美（芦穂小四年）

宇治田沙季（柿岡小五年）

飯田直人（小幡小六年）

関郷美（小幡小四年）

▽中学校の部 鈴木徹（有明中二年）

木村幸子（柿岡中二年）

桜井恵理（南中一年）（敬称略）

■訂正 二月号四ページに掲載した介護保険料見込み額の中で六十五歳以上住民税非課税（世帯）の場合の額は、一、八七五円の誤りでした。お詫びして訂正します。



最優秀賞

すてきなことば

東成井小学校二年 中牟田優香

学校で「すてきなことば」のべんきょうをしました。こんなおはなしです。

ジョーはおふろからあがつて、「おかあさん、タオル」と言いまして。おかあさんは、すこしおこった顔で言います。「おかあさんは、めしつかいかし

ら」おかあさんは、めしつかいなかじやありません。おかあさんがおこるのはあたりまえです。ジョーが「おかあさん、タオルとってください」と言いなおすと、おかあさんは、いつものおかあさんにもどって、すぐにタオルをとってくれました。

わたしは、はっとしました。じぶんのことばは、すてきなことばかなあって考えてみました。わたしも時どき、「おかあさん、おやつ」とか「お金」とか言ってしまったことがあります。おかあさんだけじゃなく、先生やお友だちにも言ったことがあります。言われた人は、きつと、いやな気持ちになつていたかもしれません。なんだか心ばいになつてきました。

と、おかあさんは、「ううん、よくわからないけれど、心のこもつたことばが、すてきなことばなんじゃないの」と教えてくれました。わたしは、おかあさんもおとうさんもおばあちゃんもおにいちゃんもお友だちも先生もみんな大スキです。みんなのことをいやな気持ちにしたいくないです。だから、心のこもつたすてきなことばをみんなにあげなくちゃいけないんだなあと思いました。

それから、おかあさんは「あいさつもすてきなことばだよ」と教えてくれました。そういえば朝、学校に行つて、お友だちに「おはよう」と言えば、一日がんばろうっていう気持ちになれるし、友だちが「おはよう」と言ってくれると、気持ちが青空みたいにさわやかにになります。

優秀賞 一般の部

あいさつで和やかな人間関係を

大字柴間 杉山はつ



今日も登校の児童らが明るく「おはようございます」「こんにちは」とあいさつして行きます。心ほのほのと温かくなり、和やかな雰囲気そこに生まれてきます。あいさつとは何とすばらしいものでしょうか。

地元の生徒、児童ばかりではありません。私はよく瓦会まで買い物に行きます。そこでも子供さんにあいさつされます。私が電動三輪車にのつていて後ろから来た中学生が「こんにちは」と言葉をかけて来ました。

私は車を止めて「皆さん元気でいい生徒さんだね。こんにちは」と答えると、「ほめられるほどでないよ」とはにかみながら私の車をしげしげと見て「おはさん、い

い車だね。でも僕らがゆっくり歩くのと同じ位でおそいんだね。早く走らないから大丈夫だと思ってくれど交通ルールをよく守つて気をつけた方がいいよ」

白髪で皺だらけの顔の老人の身を気づかつての言葉に私は心で手を合わせて「ありがとう」と言いました。

彼等の一言の「こんにちは」は会話にまで発展して私の心のともしびが明るく燃えたのでした。あ

わたしは、はっとしました。じぶんのことばは、すてきなことばかなあって考えてみました。わたしも時どき、「おかあさん、おやつ」とか「お金」とか言ってしまったことがあります。おかあさんだけじゃなく、先生やお友だちにも言ったことがあります。言われた人は、きつと、いやな気持ちになつていたかもしれません。なんだか心ばいになつてきました。

と、おかあさんは、「ううん、よくわからないけれど、心のこもつたことばが、すてきなことばなんじゃないの」と教えてくれました。わたしは、おかあさんもおとうさんもおばあちゃんもおにいちゃんもお友だちも先生もみんな大スキです。みんなのことをいやな気持ちにしたいくないです。だから、心のこもつたすてきなことばをみんなにあげなくちゃいけないんだなあと思いました。

それから、おかあさんは「あいさつもすてきなことばだよ」と教えてくれました。そういえば朝、学校に行つて、お友だちに「おはよう」と言えば、一日がんばろうっていう気持ちになれるし、友だちが「おはよう」と言ってくれると、気持ちが青空みたいにさわやかにになります。

すてきなことばは言つたほうも言われたほうも、気持ちがいいです。わたしは、こころのこもつたすてきなことばをたくさん言える人になりたいです。



優秀賞

小学校の部

おはようと言えようになつた妹

柿岡小学校四年 吉田 祐

ぼくには、五才になる妹がいます。名前は「えり」です。えりは、とっても元気で、おかしの取り合いをするといつもぼくが負けてしまふほどです。でも、知らない人がくるといつもおとなしくなつて、あまり話さなくなつてしまいます。四才の時、毎日通う保育所の先生に、「一度も「おはよう」、「さようなら」のあいさつが言えませんでした。ぼくは、あんなに

どうして言わないのか不思議でした。えりが黄色組になりました。先生も、クラスも変わったので、保育所のおくりむかえをしているおじいちゃんに、「えりは黄色組になつたから、あいさつができるようになった」と聞いてみると、おじいちゃんは、「野口先生が、毎日笑顔で「おはよう」と声をかけてくれるんだけど、えりはだまつたまなんだよ」とさびしそうに答えてくれました。「なーんだ、まだ言えないのか」お母さんが言つたように、黄色組になれば言えると思つたのに。まだあいさつできないえりのことが、とても

心配になりました。五月の連休がすぎたころ、ぼくが学校から帰つてくると、おじいちゃんが、「今日、初めてえりがおはようって言つたんだよ。とっても大きな声でね、とってもかわいく、とってもじょうずに言えたよ」と、うれしそうに話してくれました。ぼくもとてもうれしくなつて、「えり、やつたね」と言つて、えりの頭をなでてやりました。えりは、もじもじしながら、とてもうれしそうに笑つていました。そばにいたお父さんやおばあちゃんも、うれしそうにニコニコしていました。それに、保育所の先生もとても喜

んでくれたことをおじいちゃんに聞きました。みんなにほめられたえりは、きつとこれからあいさつがきちんとできるとおもいました。ぼくは、いつごろからあいさつをしているのか覚えていません。お母さんに聞いてもわかりませんでした。自分があいさつをしてもされても、あたりまえのように思つていました。でも、えりの初めてのあいさつを聞いたとき、やっぱりあいさつは大切なことなんだと思ひました。あいさつ一つが、まわりの人もうれしく笑顔にしてくれます。これからもあいさつをわすれずにしようと思います。

一人のおばあちゃんの所へホームヘルパーに行つた時のことです。「小学三、四年生くらいまでは元気にあいさつしてくれたり、困つてると助けてくれるので、とてもうれしいのだけれど、中学生くらいになると恥ずかしいのかな。あいさつをしてくれない人がたくさんいる。悲しいね」と言われたのです。私はびっくりしました。学校ではあんなにできていることが、一歩外に出ると、ほとんどできないうちで、でも改めて生活を見直してみると、思いあたることはいくつか浮かんできました。登校途中、近所の方に出会つても、特に目でも合わない限り、自分か

「おはようございます！」「おはよう！」「元気なあいさつが飛び交う朝。私はこういう明るく、さわやかな朝の始まりに、もうすっかり慣れてしまつて、これがあたり前のよう感じていました。

先生や先輩に対するあいさつは

もちろんのこと、生徒どうしのあいさつもたくさん聞かれます。

「おはよう」だけでなく、休み時間に廊下ですれ違うような時にも「こんにち」があちらこちらから聞こえてきます。黙つて通り過ぎるのが恥ずかしいと思えます。

このように私の通う園部中学校は、大変あいさつが盛んです。対外試合があると、必ず「あいさつ



優秀賞

中学校の部

もつとさわやかな朝を迎えるために

園部中学校一年 一糸 英恵

がすばらしいね」とほめられます。先日、こんなことがありました。放課後部活動のため運動場へ出ると、植木屋さんが木のせん定をしていました。私は、友だちと、「こんにち」とあいさつをしました。外にいた、どの部の生徒たちも次々にあいさつをしていました。その次の日、全校朝会がありました。校長先生の話によると、会う生徒のだからあいさつを

されるので、応じていたら、首が痛くなつてしまつた、と植木屋さんが話され、それでとてもうれしそうだったというのです。初めて会うお客様にあいさつを進めるのはあたり前。でも、ほめられると私たちとしてもうれしく、気持ち明るくなります。ところが、このように気持ちがうまうまからみ合わないことがまだ身近にあったのです。今年の夏、

一人のおばあちゃんの所へホームヘルパーに行つた時のことです。「小学三、四年生くらいまでは元気にあいさつしてくれたり、困つてると助けてくれるので、とてもうれしいのだけれど、中学生くらいになると恥ずかしいのかな。あいさつをしてくれない人がたくさんいる。悲しいね」と言われたのです。私はびっくりしました。学校ではあんなにできていることが、一歩外に出ると、ほとんどできないうちで、でも改めて生活を見直してみると、思いあたることはいくつか浮かんできました。登校途中、近所の方に出会つても、特に目でも合わない限り、自分か

らあいさつをすることはありません。なるほど、これではいけないんだな、と思ひました。なぜ校外ではできないのかという、確かに「恥ずかしいから」「みんながしないから」でしょう。でも、本当はしないで通り過ぎてしまふ方が恥ずかしいことなのです。だから私は、学校から外に出ても、自分から進んであいさつしようと思ひました。それがたとえ友だちの前であつても「おはようございます！」と元気にあいさつしながら登校しようと思ひました。もつとさわやかな朝を迎えるために。

今月から三回にわたり優良農業後継者として表彰されたみなさんを紹介していきます。

まずトップは、山崎の久保田一博さんを訪ねました。久保田さんのお宅では、いま出荷中のハウスきゅうり、畑はおもに露地栽培の大根、ネットきゅうりなどで、そのほかに水稲などを耕作しています。仕事のほうは、忙しい一時期だけ手伝いを頼みますがほとんど両親と一博さんの三人でこなしています。出荷先は価格が安定していることもあっておもに生協、ほかに市場にも出しています。つきなみな賃間できゅうりの値動きはどうなのかお聞きしたところ「きゅうりの値は今年はいいほうです」とまずまずのようでした。

一博さんは、県立農業大学校で施設園芸の技術を学び卒業と同時に後継者として家業に就きました。露地専門だった経営は、卒業後学校で学んだ施設の技術を生かせるように、ハウスきゅうりを始めました。ハウスは二六坪あります。「技術的なことはまだまだ経験が必要ですね。経営的には、これからは多角的に手がけるより、専門的に広げたほうがいいのか」と

大学で学んだ施設園芸 ハウスきゅうりに夢を託す

山崎 久保田 一博さん(24)



ハウスは外の気温によって調整しますが暖かくなると中の作業は厳しい

思います。でも二人で間に合わせるにはいまの面積が限度かな」

ハウスのきゅうりは十一月末から翌年五月が収穫期。春には、露地の春取りの大根、田んぼが始まります。そして、夏のネットきゅうり、秋取りの大根と四季を通じて忙しいようです。冬の時期も仕事は続きますが、合い間に休みをもらってスキーに行くのが楽しみ。

大学を卒業してすぐに農業後継者クラブにも入って、若い仲間同士の交流も深めてきました。

「大学の同窓で農業に就いているのは三分の一ぐらいですね」農業を学んでも、他の仕事を選ぶ若者たちが多く中で、一博さんのように農業に夢を託して仕事に打ち込む若い力が、農業の明日を支えていくことになるでしょう。

AET (英語指導助手)

イングリッシュコーナー

Not all change is progress, but all progress is change

I enjoyed last month's article on the lack of student discipline by my fellow AET, Alexis Pillsbury. As we share the same job, I definitely can relate to some of her frustrations with the Japanese school system. First, let me state that this is not going to be an article bashing Japanese schools. As a matter of fact, compared to most of the schools in my hometown of Los Angeles, Japanese schools are quite healthy. Most of students I come into contact with are great. Teachers and school officials are genuinely concerned about their students. But that's not to say there isn't any room for improvement or at the very least, debate.

One issue I would like to see addressed is classroom behavior. I understand that I'm working with young people who are going through a sometimes tumultuous stage of their lives, but when is enough, enough? Obviously never, according to the belief where a student cannot be asked to leave the room. Often times, simply obnoxious behavior is tolerated because the teacher is unable or unwilling to reprimand a student. The behavior can often distract teachers from teaching and students from learning. This is especially frustrating when there are students in classroom who do want to learn.

Another issue is why aren't students in classes that are commiserate with their ability or performance? It's difficult to teach a class where you have students who can speak basic English and then also have students who can't even recite the alphabet. So, who do you accommodate? Do you make the class so easy as to bore half the class? Or have a more demanding and interesting curriculum and risk losing the other half? Either way, the boredom may be a reason for some of the misbehavior.

I've discovered that some Japanese people also disagree with many aspects of the school system. But often I hear "that the way it is, we can't change it. Or sometimes the reply is simply "ahyes, that is bad" I'll end this article with what I started it with, not all change is progress, but all progress is change.

(Trinh Dang)

今月の原稿はツリン先生に執筆いただきました。翻訳は柿岡中学校の田村実枝子先生にお願いしました。

すべての変化は進歩ではないが、すべての進歩は変化である。先月、同僚AETのアレキシス・ピルズベリーが、生徒のしつけがなっていないことについて記事を書いており、興味深く読んだ。同じ仕事をしている立場の私には、彼女が持つ日本の学校システムに対するフラストレーションがよく理解できる。そうはいっても、むやみに日本の学校をバッシングする記事を書くとは思っていないのでは無い、というところをあらかじめお断りしておきたい。実際のところ、私のふるさとであるロスアンゼルス市の学校と比較して、日本の学校はとて健康だといえる。私と接したほとんどの生徒はとて素晴らしい生徒だ。教師と学校は、生徒のことを誠実に考えている。しかし、そのことは改善の余地がないことを意味しない。少なくとも議論の余地があると思う。

取り上げたいことの一つは、教室内の生徒の態度である。私が教えている人々が、いわば人生の激動期にあることは理解している。しかし、どの時点まで教師は寛容であれば十分なのか？生徒が教室から出ていくことを要請できないような体制では、明らかにきりが無い。不作法でしかない態度を生徒がとつても、教師は叱責する意志がないか、叱責できないから、それを容認している。この状態では、教師は教えることから、生徒は学習から、気持ちをそらされてしまう。学習意欲がある生徒がクラスの中にいるばあい、私は特に強いフラストレーションを感じてしまう。

もう一つの問題は、どうして能力別もしくは達成度別のクラス編成にしないのか、ということである。基礎的な英会話ができる生徒と、アルファベットを暗唱することさえできない生徒が混在するクラスで、授業を行うことはなほ困難だ。そうになったらあなたならばどうするだろうか？全く初歩的な授業をしてクラスの半分の生徒を飽き飽きさせるのか、それとも、レベルの高いおもしろい授業をして、わからない半分の生徒を置き去りにするのか。いずれの場合も、退屈のあげく不作法をする生徒が出てくるだろう。

私は、日本人の中にも学校のシステムの多くの点について、批判的な意見を持っていることがいると知った。しかし、しばしば聞くのは「そんなもんなんですよ。かえられやしません。」という声だ。もしくは、単に「その通り、ひどいものです。」といっておしまいである。私はこの記事を文頭のことばを持って終りたい。「すべての変化は進歩ではないが、すべての進歩は変化である。」

ツリン ダン

●町民オリエンテーリング大会

ポストを探して野山を散策

第二十回町民オリエンテーリング大会が二月二十二日、総合運動公園をスタート・ゴールにした八郷コースで行われました。また、今回は第二回いばらきオリエンテーリング大会も同時開催となりました。

当日は運動公園から大字野田、片岡、瓦谷の区域内に設けられた七つのコースをクラス別に分かれタイムが競われました。風があつたものまですの天候に恵まれ、小・中学生や家族づれなど三十三組百十二人が参加。春まだ浅い野

山の散策を楽しみました。

オリエンテーリングは、あらかじめ設けられた、六つないし九つのポスト（地点）を地図とコンパス（方位形）をたよりに見つけ、どれだけ早くスタート地点に戻れるかを競うスポーツです。誰にでも手軽にでき、自然に親しめると同時に競技のおもしろさも味わえます。次回は皆さんもぜひご参加ください。

各クラスの優勝者は次のとおりです。

◎男子A（小学五年） 永瀬俊彦・



「えーと、ここのポストは…」グループのみんなが集まって地図とにらめっこ。



大場雅之・稲田樹穂・長谷川大輔

◎男子B（小学校六年） 中川佑介・

大村賢二・鎌田将利・田中純一・

小山航

◎男子C（中学生） 久保田裕典・

鈴木崇史・広沢剛・宮城雅徳・小

熊秀己・稲田弘典

◎女子A（小学五年） 石崎晴香・

萩原明子・平実穂

◎女子B（小学六年） 奥村美幸・

中川恵美・保田裕美・鈴木優子

◎家族 稲野辺貴人・入江篤・久

保田透・平岡聡志

◎混合 浅輪民雄・浅輪和子

敬称略

花と緑の楽園



茨城県

フタバパーク

園芸教室

春植え球根の植えつけと

その後の管理



日本に定着している代表的なものにはダリア（キク科・メキシコ原産）、グラジオラス（アマメ科・南アフリカ原産）、カンナ（カンナ科・熱帯アメリカ原産）、アマリリス（ヒガンバナ科・中南米原産）等がある。

■植えつけ適期

いずれも高温を好むため、地温が十度以上になる四月中旬以降がよい。

■植えつけ準備

球根には貯蔵養分があり、陽当たりが良く排水が良ければやせ地でも生育する。

肥料は1㎡当り完熟堆肥2kgチツソ、リンサン、カリを成分でそれぞれ二十g位二十cm位の深さに耕して土に混ぜる。

■植えつけの深さ

ダリア、グラジオラス、カン

ナは芽の出る部分まで、五cm位土がかかる程度の深さに植える。アマリリスは球根の頭が少し出る程度に浅植えた方がよい。

■植えつけ後の管理

ダリアの草丈の高くなる品種は支柱を立て倒れない様にします。グラジオラスは四月～六月まで数回に分けて植えつけると植えつけ後七十五日～九十日で開花するので長期間楽しめる。倒れ易いので蕾が見えたら支柱を立てる。

カンナは肥料切れにならない様に月一回程度追肥するとよい。アマリリスは大輪系で球根が二十四cm、中輪系で二十cm以上あれば花芽が出てくるので、植えつけ後五十日～六十日で開花する。

（園芸課 矢口）

八郷の住まい探訪

(四)

地木の強さ

この探訪記の出発点は、西光院の舞台でした。ここからの八郷盆地の眺めは素晴らしいものでしたが、個々のお宅を探訪しながら、盆地を一巡して、こうして再び春霞の中で峯寺山腹の西光院を見上げますと、この風土の豊かさ・有難さを尚一層強く感じます。山を愛し、森林を大切にすることがこの町にとってどれ程に大きな意味を持っていることか。多くの人の関心を集めたいものです。

この本堂は、懸崖造・舞台造という特殊な構造になっています。千年経った木を用いた建築は、千年の寿命がある。いかにも通りの良い言葉なのですが、古建築を調査研究していますと、年輪僅かに二十年弱の杉材丸柱のお堂が四百年以上の寿命を保ってきた実例に出会うことがあります。古民家の杉材角柱でも二百年以上、ということもよくあります。前言をもつて、二十年の木を用いた建築は、二十年しか保たない、などと早合点されては甚だ困ってしまいます。その頭に、地木という言葉をつけて戴きたい、と切に願う次第です。その風土の中で生育した木は、出

来るだけその地で用いたいものです。そうすれば建築は長寿を約束されるのです。この地の多くの古民家が何よりの保証人になってくれます。地木の強さは本当にすごいものです。

市民家の柱に手の平を当てますと、そのことが実感できるのです。峯に松、中ほど松、裾に杉。樹種によって生育する環境が違います。そして同じ樹種でも微妙な地形の変化、地下水の流れ、風や太陽の向き等によって生育の状況が変化するので。古い記録を見ますと、大工棟梁と元山棟梁は肩を並らるる程に権威をもっていたことが分かります。生育状況を見てどこの部材として使うべきか。元山・木引の棟梁の制断に依っていたのです。まさに適材適所こそが建物の寿命を決定する言葉です。

無節の柱を自慢するばかりでは折角の地木の出番がありません。樹齢に相応しい地木の活用があつてこそ、山の環境が保全されます。八郷の豊かな風土は、この美しい森林があればこそ、です。玉くしげ くしげのをぐし取りも見ず 早苗とるなり



春霞の向こうに峯寺山西光院

小田の早少女 (東雄)

かつて山麓に拓かれた小さな谷田は、高い生産力を誇っていました。化学肥料の普及、農具の機械化によって手入れもされず雑草が生い茂っています。谷々の小さな流れはやがて霞ヶ浦に入ります。その水質保全には、この盆地の森林が大きな役割を果たしているのです。林業がまた活気を取り戻すには、地木の有効活用も大切です。この住まい探訪に登場したお宅はほんの数例に過ぎませんが、つい見過ごしてしまう身近の事柄に改めて関心を持つことは、この長寿社会にこそ相応しい、と思うのです。

町文化財保護審議会委員 一色更彦

●最近気になる病気

肩の痛み

石岡市医師会病院

外科 釘持 俊明医師



肩こりを経験しない人はあまりいないと思います。肩こりは頭部、肩及び肩甲骨間の筋緊張感を伴う違和感、鈍痛と表現できます。頭部や肩の筋肉は重い頭を支え、自由に動かせると腕を支える仕事をしており、常に筋肉に負担のかかった状態にあります。加えて日常生活は身体的精神的なストレスが多く、些細な頭部、肩の病変が肩こりの誘因となつてきます。肩こりは過労、運動不足、精神的緊張、姿勢の悪さなどからくることもありますが、頸椎や肩などに整形外科的な病気が原因のことがあります。このほかに高血圧、狭心症といった循環器疾患、胆石慢性膵炎などの消化器疾患、乱視、近視、眼性疲労といった眼科の病気や、歯のかみ合わせが悪かったり、顎関節の障害によることもあります。更年期障害や自律神経の障害によることもあります。その原因は多岐多彩であります。

肩こりが強い場合は頸椎や肩関節の障害に原因があるかをまず検査する必要があります。整形外科的な病気がなければ、肩こりの原因となる他の病気についても調べなければなりません。原因が定かでないことも少なくありません。日常生活の中に原因のあることも多く、習慣となつていて姿勢や動作が無意識のうちに筋肉に負担をかけて、それが積み重なって肩こりの原因となつていいることもありますので、まず肩に負担の少ない姿勢を心がけましょう。適度な体操、運動は血行を改善させ、筋肉の強化にもなり肩こりの予防にもなります。入浴も血行を改善させる効果があります。

肩こりが強い時には痛み止めや筋肉の緊張をとる薬を使ったり、針治療や肩こりの強い場所への注射や神経ブロックも効果があります。肩こりは日常生活の中に誘因が潜んでいることが多く、対症的な治療になることが多いが、根本的な治療には原因を調べるのが大切であると考えます。

にんじん
しらたきのきんぴら



食生活改善推進員 九島長子（柿岡）

〔材料〕（4人分）

にんじん 100g しらたき1パック にんにく（すりおろす）少々 赤とうがらし（輪切り）好みの量 サラダ油・酒・みりん・しょうゆ

〔作り方〕

- ①にんじんは5cm長さのマッチ棒ぐらいの太さに切る。しらたきは熱湯で下ゆでしてアクを抜き、水洗いして7～8cm長さに切る。
- ②なべにサラダ油大さじ1を熱してにんにくを加え、香りがたったら、しらたきを加える。よく炒めたところに、にんじんと赤とうがらしを少々加えてさらに炒め、酒大さじ2、みりん大さじ1、しょうゆ大さじ2を合わせて回しかけ、味をからませる。

わが家COYU

柿岡

那須詩織ちゃん

父 保さん 母 久子さん
平成6年6月29日生まれ
家族からの一言

飛行機や自動車、電車が好きな女の子です。外では三輪車や補助輪付自転車に乗って、いつも元気いっぱい。お姉ちゃんが帰ってきから一緒に遊ぶのが楽しいようです。

明るく元気に育ってほしいです。



農村資料館

八郷の民俗資料

(24)

簾（すだれ）

垂簾とも呼ばれ、本来は草でつくられた「むしろ」を表しているものであるが、やがて竹を材料にして編むようになってからは、これを垂れ下げて外部から見られるのを防ぎ、また、夏季には涼をとる屏障具として用いられるようになった。

中国大陸からもたらされたと伝えられる簾は、その時期については明らかでないが、万葉初期の代表的歌人として著名な額田王（生歿年不詳）が天智天皇（六二六～七二）に贈った歌に、

君待つとわが恋をればわが宿の

簾うこかし秋の風吹く

とあり、これが簾に関する記録所見のはじめで、奈良時代の初期のころから品質や形状などは不詳ながらも簾が上流社会で使用されていたことがうかがわれる。

簾の高級品は「みす」と呼ばれ、御簾、御簾、翠簾などの文字があてられ、その縁と「みす」の上部（帽額）に綾、錦でふちどりを施したものを宮延や神殿の柱と柱を繋ぐ水平材（長押）に垂れ下げ、簾台にかけて衝立のように使用されていた。

平安時代には「みす」のほかには小簾、伊豫簾（一篠簾）、珠簾と呼ばれるものがあらわれ、室内や軒端に垂らして内外をささぎるものとして用いられた。その他、材料や製作の

（「万葉集」所収）

方法により芦簾、萱簾、菰簾、繩簾

篠簾などがつくられ普及するようになったが、これらはいずれも下級品とされていた。

繩簾は草を編んだものであったが、のちに繩に代わり繩暖簾と呼ばれるようになった。

江戸時代以降は、初夏を迎えると金魚売り、風鈴売りなどとともに簾売りの行商人も夏を告げる風物詩になっていったが、いまではあまり見かけなくなった。

なお、最近では竹に代わってビニール製の簾が広く普及している。

町文化財保護審議会委員

西宮 一男



さ ゆ き



竜 神 帝 王



結 城



吉生 岡崎 恵美



藤崎 かおる



私も ひとこと

新年からの大雪に日本列島は交通混乱や雪による事故が相次ぎました。そんなある日、瓦会保育所入口の道路を一人の男性が汗を流しながら雪かきをしていました。「苦勞さま」と声をかけると「危ないから…」せつせと雪かきを続ける姿に感動しました。この方は近くに住む男性。この道路は県道から保育所まで約八十メートル。保育所への送迎や周辺の人々の生活道路でもある。南側はブロック塀で、そのまま置くと凍結し、大変危険である。この方には離れ住むお孫さんがおり、保育所の子たちの上に重ね、案じたの

であろうか。自分の身は守るが、他人に心くばることのない社会風潮の中で、この方の奉仕に心を打たれました。

私 は十六歳の高校生です。勉強や読みたい本があるときに、石岡の図書館を利用してはいますが、バスの時間と図書館の開閉時間が合わなくて大変です。八郷町にも図書室がありますが、勉強には利用できません。このように考えているのは私だけではないと思います。八郷町にも図書館を作ってください。

❖ 町民の皆さんからの図書館が欲しいという希望は多く、図書館建設はこれからの町の課題です。建設するならば良い図書館を考えています。しかし、

評 (勸独立書人団審査会員 翠島書院 関 翠邱)
瓦会小二年 土田明日香

瓦会 二年 土田明日香
北風

しっかりと大地に根を張る大木のようで、北風なんかには負けぬ力強い作品です。

瓦会小六年 土田 直美

瓦会 六年 土田直美
別れ行く友

余白をとってきつちりとよくおさめました。特に別の「リ」りっとうは上手ですばらしい。

今は道路や下水道、高齢者対策など生活環境の整備で急がなければならない事業がたくさんあり、図書館の具体的な建設計画は進んでいない状況です。町民の皆さんにはご不便をおかけしますが、町の内情をご理解いただき、もうしばらくお待ちください。広報係

❖ 将棋や碁のほかに俳句を数多く載せてほしいなどのご意見もあります。紙面の都合もありますので、今後十分に検討していきたいと思っています。

広報係

全問正解者のなかから
抽選で図書券が当たるよ

広報クイズ 120

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①第20回教育振興大会が開催され
たのはいつ？

- (A) 2月7日 (B) 2月14日
(C) 2月21日

②教育振興大会では「○○○○運
動」の作文と標語の入賞者も表彰
されました。さて○のなかは？

- (A) アイサツ (B) オハヨウ
(C) オアシス

③町民オリエンテーリング大会は
今回で何回目？

- (A) 第20回 (B) 第21回
(C) 第22回

【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ120と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」へのご意見や広報の感想など
を書いて送ってください。イラスト
やマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10人に、図
書券をプレゼントします。

☆締切日 平成10年4月20日

☆応募先 〒315-0195 八郷町柿
岡5680-1 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙5月号

【広報クイズ118の当選者の発表】

正解は1-A、2-B、3-Cでした。
応募総数47通、正解47通の中から
次の10人が当選しました。

大図達也(小見) 宇田信行(大塚)
柘植泉美(小見) 岡崎明裕(吉生)
飯塚俊樹(下林) 越村恵美子(真
家) 長谷川和夫(大増) 松本幸枝
(根小屋) 大湖千恵(部原) 田山
友加里(東成井) 【敬称略】



宇治会 入江かおり(7)



小見 柘植俊紀(9)



金指 関口由委

●やさと文芸

短歌

吉田次郎選

片隅にまだ雪残る庭なれど早春告ぐるクロッカス咲く

山崎 荒井 幸子

玻璃戸越す温き光を背にして心を込めて晴着縫いおり

東成井 小島 せん

水ぬるむ春の待たるる日頃にて冷たき児の手胸につつも

山崎 鈴木 君江

俳句

綿引鼓峰選

山裾の野梅に細き道続く

柿岡 大塚 比呂

早春の田の面に遊ぶ小綬鶏

東成井 小池 亀太郎

寒明けの庭湯気らしきもの光る

柿岡 小池 勇

俚謡

鈴木弦月選

恋の蕾も膨らむ梅に今朝はつれない細雪

下林 額賀 力江

苔に歴史の年輪秘めて雪に花咲く水戸の梅

下林 吉川 霞郷

腰は曲げてても曲げない意が雪の重さを耐える竹

下林 白田 正源



季節託児所(柿岡の如来寺)で
の花まつりのときの子どもたち。
(昭和二十八年当時)

やさとメモリー

「まち」の「話題」で「き」ごと

身近な出来事や地元の
話題をおよせください
(連絡先・秘書広聴課 内線 一三四三)



じょうずに滑れるようになったよ

町主催の少年スキー教室が二月二十七日から三月一日にかけて、あだたら高原スキー場で行われました。同教室は一月に予定されていましたが、雪不足のため延期になっていました。

今回は小学四年生から中学生までのおよそ四十人が参加。講師の指導のもと、最初はおそろのおそろ滑っていた子どもたちも、帰る頃にはすっかり上達し、思い思いにスキーを楽しんでいました。

柿岡中に人権作文の感謝状

柿岡中学校にこのほど、法務省人権擁護局長と全国人権擁護委員会会長から人権作文コンテスト協力に対する感謝状が贈られました。

法務省と全国人権擁護委員連合会は、毎年「全国中学生人権作文コンテスト」

を実施しています。柿岡中学校は同コンテストに毎年協力を惜しまず、永年にわたり多数の応募作品を送ってきました。その功績が認められて今回の受賞となりました。

徳川慶喜について講演会

県立歴史館歴史資料室長の宮澤正純さんによる講演「徳川慶喜と水戸藩」が三月三日、役場会議室で開かれました。

一月からNHK大河ドラマ「徳川慶喜」の放映が始まりました。慶喜は徳川幕府最後の将軍として有名であり、水戸にゆかりのある人物なので、県内でも話題となつていきます。講演では慶喜の人生や生立ち、歴史的背景などが語られました。

講演会にはおよそ六十人が出席し、幕末という激動の時代の説明に興味深く耳を傾けていました。



ときめき
ティータイム

大和田真奈美(東成井・20歳)さん

スポーツが好きで、中学・高校とバスケットボールをやっていました。楽しみにしていることは卒業旅行で海外へ行くことです。



あのがうづぎいます

○町内小学校新入児童に黄色い帽子
JAやまもと





フラワーパークの福寿草園

施設を見学しながら町長と対話

第二回まちづくり対話教室が二月二十五日に行われ、二十五人が参加しました。これは、町の旧跡・施設などを見学しながら町長と話し合いをし、町政に対する理解を深めていただくため、毎年二回ほど行っているものです。

町長との対話の時間は国民宿舎「つく

ばね」で設けられ、町長から町の予算や事業についての説明がありました。また、町内の施設として町中央浄水場、茨城県フラワーパーク、太田の善光寺楼門、瓦谷の老人保健施設「八郷プロバンス」を見学。参加者からは「いろいろとためになった」などの声が聞かれました。

佐久の大杉を長く保存

町の文化財「佐久の大杉」の保存事業がこのほど、同保存会と町が主体となり、四年計画で始まりました。

「佐久の大杉」は佐久集落にある鹿島神社のご神木で、推定千三百年といわれ、県の天然記念物にもなっています。しかし、樹木医に見せたところ、保存状態が

良くなく、少しでも長く保存するために今回の事業が行われることになりました。事業として今年度は、根の周囲を掘って堆肥を施しました。来年度以降は県から補助金をもらって、樹勢回復と枯枝の撤去や、支柱を建てたり、杉のまわりに見学用通路を作ったりする予定です。

町を見つめ直し、未来図を描く

第二回とんねるシンポジウム（主催：とんねるシンポジウム実行委員会、田園ネットはちまき）が二月十四日、中央公民館で開催されました。これは上曽トンネル建設をきっかけに、自然豊かな八郷盆地をもう一度見つめ直し、そこに暮らす私たちの未来図を描いてみようという行われたものです。

シンポジウムは三部構成で行われ、ま

ず「筑波山系とオオタカ」、「上曽トンネルと水源」についての調査報告が、次にパネルディスカッションが行われました。パネラーには町内外から五人が参加し、それぞれの意見を述べ合いました。また、作家・立松和平さんの講演「里山に生きる心」では、自然の大切さや私たちと自然とのかかわりなどが話され、町を見つめ直す催しとなりました。



パネルディスカッション

町土地改良区が表彰

八郷町土地改良区がこのほど、茨城県土地改良事業団体連合会長から表彰されました。土地改良合併に貢献したことが認められたものです。

また、生田目孝さん（下青柳）と仲村力男さん（下青柳）が永年機場管理者としての功績が認められ、表彰を受けました。



いま子どもたちの犯罪が増えたりして、学校や家庭での教育が重視されています。特に家庭でのしつけがきちんととされていない、と言われていています。ある子育てアドバイザーは「例えば剣道は正座して深くおじぎをし、師や相手に礼を述べます。『頭を低くして謙虚になる』。こんな初歩的な人のマナーを知らない子どもが多いのだそう。『護身とは心の守り』とキチンと大人から教えられてくれば、ナイフで武装なんてしないですんだらうに」と言っています。わが家を振り返り、うちの子まだ間に合うかなーと考えました。（武

しつかり教えよう交通ルール

四月は入園・入学シーズンです。真新しいランドセルやカバンを背負った新入学（園）児は見ていても微笑ましいものです。子どもたちはこの時期、生活のパターンが変わり、行動範囲も広がります。その元気な子どもたちにとって最も怖いのが交通事故。交通事故から子どもを守るためには、家庭での交通安全教育がとて大切となります。自分の身は自分で守らなければならないことをしつかり教えましょう。



横断歩道では必ず左右の確認をし、安全を確かめてから横断しましょう。また、ドライバーの皆さんも、子どもを見かけたら必ず安全運転を心掛けましょう。

◆子どもの事故原因のトップは飛び出し

昨年、町内で交通事故によりケガをした子どもたちは十九人で、年齢別では幼・園児が四人、小学生が八人、高校生が七人、幸いにして中学生の事故はありませんでした。

事故の原因（図Ⅰ参照）のほとんどが「飛び出し」や「車の直前直後の横断」、または自転車に乗って「一時停止」や「左右の安全確認」を怠ったものです。こういった基本的な交通ルールが守られていないことが事故につながります。また、このような事故は放課後とか、土・日などの休日に多く発生しています。

◆交通安全教育は子を持つ親の責任

事故から子どもを守るためには、まず交通ルールをしつかり子ども

たちに教え、守らせることが親の責任といえます。特に、新入学（園）児には、親がまず手本を示して、正しい交通ルールを身に付けさせ、次のような点をよく指導しておきましょう。

①子どもと一緒に通学路を歩く

一度、通学路を子どもと一緒に歩いてみましょう。そして、信号機や道路標識の見方、道路の横断の仕方などをその場で具体的に教えます。

②登校時間に余裕をもつて

寝る前には明日の準備をさせ、早くやすませましょう。忘れ物を取りに戻ったり、登校時間に余裕がないと、子どもはあわてて飛び出し事故に遇うこともあります。また、出がけに子どもを叱ったりせず、子どもがゆとりをもって学校にいけるよう笑顔で送り出しましょう。

③遊ぶ範囲、帰宅時間を守る

学校からの帰り道、歩きながらふざけつことをしたり、道草をすると事故に遇う可能性が高くなります。道草をしないで帰るよう言い聞かせましょう。また、帰宅後、子どもが遊びに行く場合、遊びに行ってもよい場所や、帰宅時間などを決めて守らせることが大切です。

④自転車に乗るときの注意

自転車で交差点や道路を横断するときは、十分に安全確認をするよう教えましょう。また、車に同乗させる場合はシートベルト着用を習慣にしましょう。

図Ⅰ 小学生の歩行者事故・原因別死傷者数

